第6回JMACシンポジウム



JMAC Symposium on AMED miRNA Project, International Standards, and Liquid Biopsy

miRNA最新研究、国際標準化、 リキッドバイオプシーのもたらす未来と展望

~AMED 体液中マイクロRNA測定技術基盤開発プロジェクト 成果報告会 特集~

会期

2019/1/24 末~25 金

参加費:無料

※レセプション参加費用1,000円予定

日 学英 同時通訳サービス (全講演)

会 場

東京国際フォーラム ホールB5 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-5-1

Day1 プログラム 1/24 困

セッション1

10:00~14:10

バイオ分野で進むISOとイノベーションの関係

●座長 中江 裕樹/JMAC

●ご挨拶 経済産業省

●演者 古田 耕/神奈川県立がんセンター

Clare M. Allocca / National Institute of Standards & Technology (米国NIST)

野田 尚宏/產業技術総合研究所

関野 祐子/東京大学大学院薬学系研究科

Dr. Mikael Kubista TATAA Biocenter, Sweden Cancer ID Project, EU

日置 達男・柳田 豊/富士フィルム株式会社・アステラス製薬株式会社 (再生医療イノベーションフォーラム (FIRM))

セッション2

14:10~17:30

miRNAプロジェクト成果報告会 part1

●座長 落谷 孝広/国立がん研究センター

●ご挨拶 山田 尚之/AMED 創薬戦略部 医薬品研究課

●演者 松崎 潤太郎/国立がん研究センター

落合 大樹/国立がん研究センター

藤宮 仁/株式会社ダイナコム

大田 信行/Preferred Networks America, Inc.

新飯田 俊平/国立長寿医療研究センター

Day2 プログラム 1/25 **金**

セッション3

10:00~12:00

miRNAプロジェクト成果報告会 part2

●座長 中江 裕樹/JMAC

●ご挨拶 斉藤 史郎/JMAC会長 株式会社東芝

●演者 **滝澤 聡子**/東レ株式会社

橋本 幸二/株式会社東芝 小堀 哲生・野田 雄一郎

- プロ 雄 ぷ /京都工芸繊維大学・アークレイ株式会社

澤上 一美/プレシジョン・システム・サイエンス株式会社

中江 裕樹/JMAC

セッション4

13:20~17:30

リキッドバイオプシー技術のもたらす未来と展望

●座長 落谷 孝広/国立がん研究センター

●ご挨拶 加藤 紘/山口大学 名誉教授

●演者 Dr. Tang-Long Shen/National Taiwan University (台湾)

Dr. Matthew Young / National Cancer Institute (米国)

前川 真人/浜松医科大学

西尾 和人/近畿大学

落谷 孝広/国立がん研究センター

●パネルディスカッション

●プログラムは予告なく変更となる場合がございます。あらかじめ、ご了承ください。

●プログラムの詳細はJMACウェブサイトをご参照ください。

miRNAプロジェクト参画機関によるポスター展示

国立がん研究センター、国立長寿医療研究センター、東レ株式会社、株式会社東芝、プレシジョン・システム・サイエンス株式会社、 アークレイ株式会社/京都工芸繊維大学、株式会社ダイナコム、株式会社 Preferred Networks (PFN)、一般社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム (JBIC)、 産業技術総合研究所、大阪大学、東京医科大学、大阪市立大学、東京医科歯科大学、九州大学、名古屋大学、群馬大学、広島大学、JMAC



事前参加登録

こちらからお申込みください。

https://www.jmac.or.jp/ 参加登録: 2018年10月末開始予定 レセプションのご案内 シンポジウム第1日目の終了後、東京国際フォーラム のラウンジにてレセプションを行います。参加には、 事前登録が必要です。参加費用1.000円を申し受けます。奪ってご参加ください。

事前登録が必要です。参加費用1,000円を申し受けます。奮ってご参加ください。なお、会場準備の都合上、1月21日(月)17時00分以降、キャンセル不可となりますので、予めご了承ください。

主催 特定非営利活動法人 バイオ計測技術コンソーシアム (JMAC)

協 賛 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)

本シンポジウムは、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業の支援を受けております。